

Serge Verniau 農業部長との面談内容ほか

(1)経緯

11月6日、JICA ディリ事業所経由で本部東南アジア課からの指示「本件調査に関する ETTA 側の意向確認」を受け、翌11月7日午前8時半 Serge Verniau 部長と面会の上、9日午後2時半から会議を行うこととした。

その後の7日午前10時、JICA ディリ事業所より、「UNTAET 高橋特別副代表と同 Cady 特別副代表との会談結果から、『9日に行われる閣議において当該本格調査の S/W 署名承認を行うので、農業部から S/W 含め議題として閣議に上げさせること』との指示があり、Serge 部長と再度コンタクトを取ったうえで、江尻所長に同席いただきその旨要請した。

Serge 部長からは、「S/W 署名はそれとして、詳細な内容について今後協議したい」旨の要請があり、9日2時半からの会議は予定通り行うことを確認した。

9日2時半、面談の冒頭で同部長より、「今日の閣議で、調査内容について JICA と協議・再確認し報告するようとの指示が出された。内容について確認後報告し、それを受けてサイナーが署名する。この件について JICA 側にも知らせて欲しい。」との話があった。また、閣議で出された要望として、①調査船を使ったチモール海の水産資源調査の実施、②調査実施に際し他ドナーを含めたステアリングコミッティの設置、③調査結果の東チモールへの帰属 (ownership)、等が調査団に伝えられた。調査団は①については「今回の調査に含めることは困難」、②及び③については可能性有りとの見解を示したが、いずれにせよ、ETTA 側と日本側の状況理解に大きな隔たりがあり、それ以上調査団単独での打合せ・協議はできないものと判断し、日本側の正式見解を確認したうえで今後の協議を行いたい旨の説明をした。

農業部長は、閣議での議論内容は「confidential」として詳細には語らないが、「農業部は閣議において正式に『日本側との調査内容の詰めを行うように』との mandate を課せられた。日本側の時間的制約も理解しており、早速協議を行いたい」との申し出があった。調査団としては、技術的観点からの詳細協議、あるいは最短時間による S/W 署名 (2~3回の協議後、来週中に合意・署名) のためにも早期の再協議は必要と考え、翌日 (10日午後2時半) の会議を提案した。

(2)今後の協議方針について

S/W 自体の内容は両副代表間ですでに合意されており、さらなる協議の対象とはならない。あくまでも「調査内容の実務者レベルでの確認」を求められているものと判断する。調査団としては、①ETTA から JICA への閣議協議内容および S/W 署名に関する公式通知、②それに呼応して決められる JICA の協議方針、を確認のうえ 10日午後の ETTA 農業部との協議に臨むこととしたい。

農業部との第1回目協議内容ほか

(1)日時・出席者

日時・場所： 11月10日（金）午後2時・ETTA 農業部
出席者： 鈴木担当（JICA ディリ事業所）、三部、石原（JICA プロ形調査団）
Peter Nuttall(Chief of Forestry/Acting Deputy of Agricultural Division)
Richard Mounsey (Chief of Fishery)
Maria Regina Ismail (Former Chief of Livestock)

Serge 農業部長は NC(National Congress)出席のため欠席

(2)要点

主な協議は Nuttall 氏との間で行った。(Nuttall 氏は、Serge 部長より Deputy として部長不在時の交渉役を委任されている)

ETTA 側は9日夕、Cady 特別副代表と Serge 農業部長、Mari Alkatili 大臣が本件についての打合せをした模様である。

先方から「S/W の修正案」のペーパーが提示された。当方は「S/W は署名されてはいないものの内容は既に合意されており、今後の協議は S/W の解釈や調査の技術的手法や重点、実施上の留意事項にある」との認識を示した。

先方は範囲（セクターおよび地域）を絞った調査（それがマスタープラン調査と言えるか疑問）を求め、具体的調査項目を挙げているが、当方としては、それらを東チモール側の重点（期待）事項として調査実施の際に念頭におくとしても、調査自体は「セクターおよび地域全体を俯瞰する既存の S/W」の下で実施可能として、既存 S/W の修正は必要ないであろうと主張した。

これに対し先方から、「既存の S/W の表現・内容の一部変更は可能か？不可能か？」との質問があり、当方は「次回の協議（13日午後2時より）の際に提示されればそれを日本側に伝える」と応えた。

その他、先方のペーパーに記されている費用負担等については次回の協議で説明・確認する。

(3)先方から提示のペーパーに関する協議

①まず、当方から、「日本側としては既に S/W は内容が合意されているものと考えており、" proposed S/W "、" draft S/W "、" negotiation " という段階はすでに終了していると認識している。この協議の目的は S/W の解釈あるいは調査内容の確認であり、S/W の書き換えは念頭に置いていない」旨を先方に伝えた。

②また、S/W は包括的に調査内容を捉えており、ETTA 側が用意したペーパーに含まれる内容は大部分が既存の S/W のもとで実施可能と考えるので、S/W はそのままとし、別途ペーパー（議事録等）を作って内容を確認・合意し、それを JICA 本部および ETTA 閣議に報告すれば良いのではないかと案を示した。

③これに対し先方から、「たとえば undertaking of UNTAET/ETTA については Legal Affairs との確認のうえ若干の修正が必要かもしれない」との話があった。

④ペーパー1頁第2段落の「Delineation of・・・」については、「来年の3月あるいは4月まで調査実施を待て」ということではなく、「ドナー調整会議の結果としての各国の役割を反映したマスタープラン策定やパイロットプロジェクトとする」とのことである。

⑤ペーパー2頁の「4. Scope of the Study」は、「『この調査のみを実施する』ということではな

く、東チモール側が重要と考える、あるいは日本に期待する重点調査内容として念頭に置く」との当方の考え方を重ねて先方に伝えた（各項目とも非常に狭い範囲で詳細な調査を必要とするため全体マスタープランとのバランスが取れない）。

⑥項目 5、6、7 については具体的な話に至らず。カウンターパートおよび相手国職員の給与を JICA が支払うことはできないことを次回協議で伝え、対案を協議する。

(4)その他

①「S/W に手を加えることは考えていなかったが、とにかく変更したい表現（re-wording）等があれば、次回協議においてオリジナルの S/W に沿った形で提示すること、また、前掲⑥を踏まえ、昨日調査団が参考資料として提示した要員計画の中の専門家について、過不足、要件（特に重要な専門分野）についてコメントを提示すること、を要請した。

②当方から、「閣議の議題として本件が扱われ、農業部に JICA との協議（S/W の内容確認、調査手法・内容の詰め）をするようにとの指示が出たとのことであるが、JICA ディリ事務所でも Mr. Andrew 経由での確認を急いでいる」との説明をしたところ、先方から「毎週土曜日に Cady 特別副代表と各部長との会議があるので、これまでの協議内容を含めてそのことを知らせ、何らかの通知ができるようにする」との話があった。（Cady 特別副代表は 11 日から出張するとの事前情報があり、可能性については疑問。11 日昼前に確認の予定）。

③次回協議は 13 日（月）午後 2 時とする。

(5)次回協議

①先方から提示の S/W 一部修正案についての協議

②先方から提示の専門家配置修正案についての協議

③当方から打合せ協議議事録（案）を持参し提示・協議（調査団が案文を作成し、13 日午前中に JICA ディリ事務所での内容確認）

農業部との第 2 回目協議内容ほか

(1)日時・出席者

日時・場所： 11 月 13 日（月）午後 2 時・ETTA 農業部

出席者： 江尻所長、鈴木担当（JICA ディリ事業所）、三部、石原（JICA プロ形調査団）
Serge Verniau (Director, Division of Agricultural Affairs)
Peter Nuttall(Chief of Forestry/Acting Deputy of Agricultural Division)

(2)内容

① 冒頭、江尻所長より、閣議決定および 11 日付レター（Cady 特別副代表より追加協議要請）について先方の説明を求め、Serge 部長から説明があった。

② さらに、11 日に先方から提示のあった S/W 変更依頼事項（11 月 11 日付）について説明があった。

③ 当方は、再度 S/W および M/M の位置づけ、考え方を説明し、先方に対して「当初 S/W 案（9 月時点）に加筆する方法」で修正・加筆することとを申し入れ、協議後同上案の文書ファイルのコピー（フロppy）を渡した。

- ④ 次回協議を 14 日午後 3 時に行うこととした。

農業部との第 3 回目協議内容ほか

(1)日時・出席者

日時・場所： 11 月 15 日（月）午前 11 時・ETTA 農業部
出席者： 江尻所長、鈴木担当（JICA ディリ事業所）、三部、石原（JICA プロ形調査団）
Serge Verniau (Director, Division of Agricultural Affairs)
Peter Nuttall(Chief of Forestry/Acting Deputy of Agricultural Division)

(2)前回協議以降の動き

- ① 13 日（月）夜、「M/M 第 1 案」（9 月の M/M 案とは別に、今回の 11 月 11 日付 Cady レターに対する協議記録として作成）を JICA 本部に送付
- ② 14 日（火）午前、ETTA 農業部より JICA フォーマットに沿った S/W 修正案を入手。主な変更点は以下の通り。
- (a) 項目 II-1. 「to formulate a Master plan」を「to assist in formulation of a Master plan」に。マスタープランは東チモール政府が作成するものであるとの主張。
 - (b) 項目 IV-1. 1. 「資料収集は M/M で限定する調査内容および世銀のドナー間調整会議(2001 年 3 月)で決定した日本の担当セクターについて行うこと」を明記
 - (c) 項目 IV-1. 1. 細目（1～4）を削除
 - (d) 項目 IV-2. 2. パイロットプロジェクトの選定・実施はステアリングコミッティが approve する
 - (e) 項目 IV-2. マスタープランの内容を「合意したサブ・セクターに限定する」記述
 - (f) 項目 VII-3. ETTA のアンダーテイキングの第 3 項目（カウンターパートとしての役割）にステアリングコミッティ（「詳細については M/M 参照」との記述付き）の設置を記述
- ③ 一方、先の 9 月の M/M と上記 M/M 第 1 案を合わせた修正第 1 案を作成する。
- ④ ②の先方 S/W 修正案と当方 M/M 案を JICA 本部に送付。JICA 本部は関係各省（外務、農水）に回送し日本側の見解を固める。
- ⑤ 14 日午後 3 時の会議予定を 1 時間遅らせたものの、本部からの返信なく、会議を 15 日午前 11 時とした。
- ⑥ 14 日夜、JICA 本部より、S/W および M/M の修正指示が届く。
- ⑦ 15 日午前、上記指示に基づき、S/W 第 2 案および M/M 第 2 案を作成する。

(3)内容

- ① 当方より、S/W 第 2 案を説明する。先方提示案に対する S/W 第 2 案の主な修正点は以下の通り。
- (a) 文中、ETTA/UNTAET に統一する
 - (b) 項目 II-1. 「to assist in formulation of a Master plan」を受け入れる
 - (c) 項目 IV-1. 1.、項目 VII-3. M/M を S/W の中で参照しない（先方案から削除）

- (d) 項目 IV-1.1。先方が削除した資料収集の細目（1～4）を元に戻す
 - (e) master plans を単数（s を取る）にする
 - (f) 項目 IV-2.2。パイロットプロジェクトの選定実施については「as approved by」を「in consultation with」とし、これは譲歩しない。
 - (g) スケジュールの添付
- ② 当方より M/M 第 2 案を提示・説明する。先方に提示した M/M 案はこれが最初の案。M/M 第 2 案の主な修正・追加点は以下の通り。
- (h) 項目(1)。ステアリングコミッティに「CNRT 農業部など他の農業関連組織・・・」を記述。
 - (i) 項目(5)。「先方の考える調査の焦点」に「流域管理」と「市場」を入れる。
- ③ 先方からも M/M の原案が提示される。
- ④ 次回協議を同日 15 日午後 5 時半に設定し、先方が当方提示の S/W、M/M 案に加筆・修正することとし、フロッピーディスクにてファイルを渡した。

農業部との第 4 回目協議内容ほか

(1) 日時・出席者

日時・場所： 11 月 15 日（水）午後 5 時 30 分・ETTA 農業部

出席者： 江尻所長、鈴木担当（JICA ディリ事業所）、三部、石原（JICA プロ形調査団）
Serge Verniau (Director, Division of Agricultural Affairs)
Peter Nuttall (Chief of Forestry/Acting Deputy of Agricultural Division)

(3) 内容

- ① 先方より、S/W 修正第 2 案の説明。主な修正点は以下の通り。
- (a) 項目 II-1。Master plan に「to be prepared by the Division of…」の追加。マスタープランは ETTA 農業部が作成するものであることを明記
 - (b) 項目 IV-1.1。復活した項目 1～4 の最後に「on approval by the DAA…」の追加。「データ収集は農業部の認めた分野のみについて行う」との記述→先方は「国家機密」等の例を挙げていたが、実際には JICA 調査団の調査内容を自分たちの希望する分野に絞らせようとの意図が明白。
 - (c) 項目 IV-2。「マスタープランは農業部が作成」との強い意図から、調査団作成のマスタープラン（小文字）をすべて「inputs for Master Plan」（JICA 調査の成果は農業部が作成するマスタープランのためのインプット）との記述に変更統一。
 - (d) 項目 IV-2.2。「in consultation with」を「on recommendation of」に変更。
- ② 先方より、M/M 修正第 2 案の説明。主な修正点は以下の通り。
- (a) 項目(1)。農業部を経済局農業部に変更
 - (b) master plan を inputs for master plan に変更
 - (c) 項目(4)。当方の「インベントリ調査」に関する記述について「調査全体」と置き換え、範囲を絞り込むように記述（all the sub-sectors identified by the DAA）。「Census and Statistic Unit」を「related units」に変更

- (d) 項目(5)。「農業部が示唆した調査の焦点」を「両者が合意した調査の焦点」に変更。「有機農業」追加。「Pelagic survey のプロジェクトデザイン」追加。
- (e) 項目(6)。「GIS 分野の JICA 実施内容を調査開始時に明示する」との記述。
- (f) 項目(9)。「JICA が車、事務用品、調査補助員を調達する・・・」と変更
- (g) 項目(10)として、調査費用の記述。

③ 次回協議を 16 日（木）午前 10 時とする。

農業部との第 5 回目協議内容ほか

(1)日時・出席者

日時・場所： 11 月 16 日（木）午後 5 時 30 分・ETTA 農業部
 出席者： 江尻所長、鈴木担当（JICA ディリ事業所）、三部、石原（JICA プロ形調査団）
 Serge Verniau (Director, Division of Agricultural Affairs)
 Peter Nuttall(Chief of Forestry/Acting Deputy of Agricultural Division)

(2)協議までの経緯

15 日夕に提示のあった先方案について、当方案を 2 案作成した。1 案目は、「先方政府の作成する Master Plan に対し、JICA が作成するマスタープランを master plans として区別する。2 案目は、マスタープランという呼称をやめ、「Integrated Agricultural Development Plan」（略称：Development Plan）とするもの。本部からは後者を当方案とすることで了解を得る（16 日 15 時 40 分）。午前 10 時に予定されていた会議はキャンセルし、午後 5 時 30 分に変更した。

(3)内容

① 当方より、S/W 第 3 案の説明。主な変更点は以下の通り

- (a) 項目 II-1. Master plan に「to be prepared by the Division of…」の追加は受け入れられる。
- (b) 項目 IV-1.1. 復活した項目 1～4 の最後に「on approval by the DAA…」の追加。これは受け入れず削除。
- (c) master plan(s)をやめ、integrated agricultural development plan (the Development Plan) とする。
- (d) 項目 IV-2.2. 「on recommendation of」を受け入れる。

② 当方より、M/M 第 3 案の説明。主な修正点は以下の通り。

- (e) 項目(1)。農業部を経済局農業部に変更→問題なし。
- (f) master plan(s)をやめ、integrated agricultural development plan (the Development Plan) とする。
- (g) 項目(4)。「The Study」を Inventory Survey に戻す。「related units」は受け入れる。
- (h) 項目(5)。「both sides agreed」で妥協。Coastal Fisheries を押す。「Pelagic…」は今後とも可能性がないので切る。
- (i) 項目(6)。「GIS 分野の JICA 実施内容を調査開始時に明示する」との記述→調査の過程で明らかになることであるため、削除

項目(9)。原文に戻す。

(j) 項目(10)は削除

(k) 出席者リストに UNTAET Legal affairs の担当者を入れる

- ③ 先方からの対案を同 16 日（木）午後 10 時に受領することとしたうえで、17 日（金）午前 11 時 30 分と同午後 5 時 30 分の協議を行うこととした。

農業部との第 6 回目協議内容ほか

(1) 日時・出席者

日時・場所： 11 月 17 日（金）午後 2 時 30 分・ETTA 農業部
出席者： 江尻所長、鈴木担当（JICA ディリ事業所）、三部、石原（JICA プロ形調査団）
Serge Verniau (Director, Division of Agricultural Affairs)
Peter Nuttall (Chief of Forestry/Acting Deputy of Agricultural Division)

(2) 協議までの経緯

16 日夜に提示のあった先方修正 S/W 案の内容は以下の通り。

- (a) 項目 IV-1.1。(4)の Others を削除した上で on approval・・・を復活
- (b) 項目 IV-3。Pilot Project の実施の後に「as agreed by the Steering Committee」を追加

先方修正 M/M 案の内容は以下の通り。

- (c) 項目(4)。Inventory Survey にも「agreed sub-sector」の表現。全分野のインベントリ調査実施を否定
- (d) 項目(5)。Coastal fisheries を単に Fisheries に修正
- (e) 項目(6)。GIS 調査内容を「調査開始後 1 ヶ月以内に合意する」との表現。
- (f) 項目(7)。データのみならず、処理したもの（produced）の Ownership を主張。成果品の公開方法についても東チモールの法的合意を必要とする旨の記述。
- (g) 項目（10）。何らかの形で予算を示すことを記述

翌 17 日午前 11 時半の協議予定は午後 2 時 30 分に変更。

(3) 内容

- ① 当方より、S/W 第 4 案の説明。主な変更点は以下の通り

- (h) 項目 IV-1.1。(4)の Others を復活し、on approval・・・を削除。
- (i) 項目 IV-3。「as agreed by the Steering Committee」を削除。前項 IV-2.2 において、「on the recommendation of・・・」と記述済。

- ② 当方より、M/M 第 3 案の説明。主な修正点は以下の通り。

- (j) 項目(4)。「agreed sub-sector」の agreed を削除
- (k) 項目(5)。Fisheries を受け入れる
- (l) 項目(6)。GIS 調査内容を「explain」と表現。「開始後 1 ヶ月以内」は受け入れる

(m) 項目(7)。もとの記述に戻す。項目自体を削除し、後の議論とするオプションも検討
(n) 項目(10)。削除

特に、項目(7)および(10)については当該調査に限った内容でもなく、しかも法的判断に関わる問題でもあり、ETTA/UNTAET 他部門への照会が必要と判断。

- ③ 先方は、M/M 項目(6)については受け入れたものの、項目(7)および項目(10)については「上層部からの指示もあり譲歩できない」との見解を示した。
- ④ 両者上記の2点について妥協の目処がないことから、一旦交渉を止めることとした。ETTA 側は交渉結果について閣議への報告を行う模様。

農業部との第7回目協議内容ほか

(1)日時・出席者

日時・場所： 11月23日(木)午後5時・ETTA 農業部
出席者： 江尻所長(JICA ディリ事業所)、三部、石原(JICA プロ形調査団)
Serge Verniau (Director, Division of Agricultural Affairs)

(2)協議までの経緯

17日(金)の第6回目協議以降、JICA サイドは高橋 UNTAET 特別副代表への経過報告(20日午後)を行い、ETTA 農業部は Cady 特別副代表および Mari Alkatiri 経済大臣(国外滞在のため不在)への書面での経緯報告を行った。「23日(木)午後までには何らかの動きがあるだろう」との Serge 農業部長の言もあり、当方より23日(木)午後5時の面会を申し入れた。

農業部関連案件としては、先週にポルトガルによる農業案件(コーヒーおよび園芸作物開発)について両国間合意がなされている(未署名だが雨期が迫っているため両者合意のうえ開始)一方、ACIAR(オーストラリア国際農業研究センター)が種子増殖計画についての協議を進めているものの、合意に至らず ACIAR 担当者も(実施の目処が立たず)困惑している。(具体的問題点是不明)

(3)協議内容

① 先方(Serge 部長)より、その後の経過説明。

(a) 東チモール人の「所有権」、「情報管理」に関する懸念・意識が強く、S/W における approve、agree との表現は欠かせない。東チモール人は情報がインドネシアや民間人に容易く渡ることを恐れており、M/M 案(6)の Ownership に関する記述は不可欠であるとの見解が示される。

(b) 24日(金)午前にも Legal Affairs に本項目(S/W、IV. 1.(4)および M/M 案(6))について確認する。

② 当方より、現時点での両者合意事項を確認

(a) S/W については上記項目 IV. 1.(4)を Legal Affair と相談のうえ、農業部より妥協案を出す。

(b) 項目 IV. 3. の「as agreed by the Steering Committee」は前項 2. 2 に「on recommendation of…」との記述があり重複するため削除。

(c) M/M 案、項目(10)については削除(Serge 部長は「保証はできない」としながら個人的

見解として承諾)

(d) M/M 案、項目(7)については当方より「全文削除のうえ後日(報告書提出時)協議」を申し入れたものの、Serge 部長は「何らかの表現を置くことが必要」と主張し、Legal Affairs に相談のうえ農業部より妥協案を提示することとなる。

(e) M/M 案、項目(4)の agree は削除する方向で検討。

- ③ 農業部から Legal Affairs への照会結果を踏まえての再協議を翌 24 日(金)午後 5 時 30 分
に持つことで双方確認。

農業部との第 8 回目協議内容ほか

(1)日時・出席者

日時・場所： 11月24日(金)午後5時30分・ETTA 農業部
出席者： 江尻所長、鈴木担当(JICA ディリ事業所)、三部、石原(JICA プロ形調査団)
Serge Verniau (Director, Division of Agricultural Affairs)

(2)協議内容

- ① 先方(Serge 部長)より、Legal Affairs との協議を踏まえた妥協案提示
- (a) S/W 項目 IV. 1. (4)については、「(4)Others」のあとに、「as may be agreed between DAA and JICA」を追加
 - (b) M/M 項目(7)については、「All primary information and data shall at all times remain the property of DAA. All processed data shall be the joint property of JICA and DAA; provided, however, neither party shall release the processed data or derivative works thereof to any third party without the prior consent of the other, which shall not be unreasonably withheld.」とする。
- ② 当方より、上記農業部案を本部に送ることを伝える。
- ③ 上記 2 点以外の最終案について確認
- (a) S/W 案については「上記本部確認」のみ
 - (b) M/M 案項目(4)の「agreed」は、すでに S/W の項目 IV. 1. 1(4)で記述されており、削除。
(ただし S/W の項目 IV. 1. 1(4)が合意の場合)
 - (c) M/M 案項目(6)は当方最終案(第 6 回面談記録添付資料 4)とする。
 - (d) M/M 案項目(10)(先方最終案: 予算明記)は削除
- ④ 双方実務者レベルで S/W および M/M に合意した。
- ⑤ 翌 25 日(土)午前 9 時半に最終案の書面確認(農業部~JICA)を行う。
- ⑥ 27 日(月)午前 10 時に予定されている高橋~Cady 両副代表会談に向けて、ETTA 農業部および JICA から実務者レベルで合意された S/W および M/M をともに確認・提示する。

農業部との第9回目協議内容ほか

(1)日時・出席者

日時・場所： 11月25日（土）午前9時45分・ETTA 農業部
出席者： 江尻所長、鈴木担当（JICA ディリ事業所）、三部、石原（JICA プロ形調査団）
Serge Verniau（Director, Division of Agricultural Affairs）

(2)協議までの経緯

24日（金）午後の第8回協議のあと、Legal Affairsの担当者（Tom MARKUSHEWSKI氏）と会い、先方案（M/M 項目(7)）の主旨について確認した。同日夜、JICA 本部から、先方案に対する下記修正案と指示（ファックス）を受けた。

- (a) S/W 項目 IV. 1. (4)については、「(4)Others」のあとに、「as may be agreed between DAA and JICA」を追加する先方案を受諾。
- (b) M/M 項目(7)については、「(7)All primary information and data shall at all times remain the property of DAA. The copyright of the reports including processed data shall be in the joint possession of JICA and DAA; provided, however, neither party shall release the reports above thereof to any third party without the prior consultation of the other.」とする。

上記案について、翌25日（土）午前9時半にLegal Affairs（Tom MARKUSHEWSKI氏）に説明し、承諾を得、その後農業部 Serge 部長との協議に臨んだ。

(3)協議内容

- ① 先方（Serge 部長）より、24日（金）の第8回協議で双方口頭確認したS/W、M/M 第6案が提示された。S/W 案については当方で用意した最終案と完全な一致をみた。
- ② M/M 案については、項目(7)は前回記述と同じなるも、当方から、Legal Affairs の承諾を受けた JICA 本部修正案について説明したところ、Serge 部長もこれを受諾した。これを入れた M/M 最終案と S/W 最終案（デジタルファイル）を手交した。
- ③ 以上により、実務者レベルによる S/W、M/M 案の協議をすべて終え、両者よりそれぞれ高橋特別副代表、Cady 特別副代表に報告することとした。
- ④ M/M の署名（署名者は江尻所長と Serge 部長）は27日（月）正午に農業部で行うこととした。

**The Scope of Work
for
The Study on Integrated Agricultural Development of East Timor
agreed upon between
East Timor Transitional Administration/
United Nations Transitional Administration in East Timor
and
Japan International Cooperation Agency**

Dili, November 28, 2000

Yukihiko Ejiri
Resident Representative
Japan International Cooperation Agency
(JICA)
East Timor Office

Jean-Christian Cady
Acting Transitional Administrator
East Timor Transitional Administration
(ETTA)
Deputy Special Representative of
Secretary General
United Nations Transitional
Administration in East Timor (UNTAET)

I. INTRODUCTION

In response to the request of the East Timor Transitional Administration (hereinafter referred to as "ETTA")/the United Nations Transitional Administration (herein after referred to as "UNTAET"), the Government of Japan decided to conduct The Study on Integrated Agricultural Development of East Timor (hereinafter referred to as "the Study") in accordance with the relevant laws and regulations in force in Japan.

Accordingly, the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as JICA), the official agency responsible for the implementation of the technical cooperation programs of the Government of Japan, will undertake the Study in close cooperation with the authorities concerned of ETTA/UNTAET.

The present document sets forth the scope of work with regard to the Study.

II. OBJECTIVES OF THE STUDY

The objectives of the Study is:

1. To assist in the formulation of a Master Plan to be prepared by the Division of Agricultural Affairs, Department for Economic Affairs of ETTA/UNTAET (hereinafter referred to as "DAA") for the development of East Timor's agriculture, forestry and fisheries sectors.
2. To assist the human resource development of East Timor.

III. STUDY AREA

The Study shall cover whole area of East Timor.

IV. SCOPE OF THE STUDY

In order to achieve the objectives above, the Study shall consist of the following items.

[Phase 1]

1. Data collection and analysis

1.1 Collect and review the existing information and conduct field surveys on the followings:

- (1) Natural condition and present condition of land for agriculture and forestry use
- (2) Present condition of agriculture production
- (3) Progress and results of on-going projects in the Study area
- (4) Others, as may be agreed between DAA and JICA

2. Proposal of the draft Integrated Agricultural Development Plan (hereinafter referred to as "Development Plan") on the basis of the results of the data collection and analysis mentioned above.

- 2.1 Draw up the draft Development Plan in the respects of the short and medium term development.
- 2.2 Identify and implement the pilot project(s) on the recommendation of the Steering Committee in accordance with the above Development Plan.

[Phase 2]

3. Implementation of the pilot project(s)

Training(s), workshop(s), seminar(s), etc. will be conducted in the course of the pilot project (projects).

4. Finalization of the Development Plan

- 4.1 Collect the supplementary data and information
- 4.2 Finalize the Development Plan

5. Preparation of conclusion(s) and recommendation(s)

V. STUDY SCHEDULE

The Study shall be carried out in accordance with the Tentative Work Schedule attached as Annex 1.

VI. REPORTS

JICA shall prepare and submit the following reports, written in English, to ETTA/UNTAET;

Inception Report	: Twenty (20) copies at the commencement of the Study
Progress (1) Report	: Twenty (20) copies in Phase 1
Interim Report	: Twenty (20) copies in Phase 1
Progress (2) Report	: Twenty (20) copies in Phase 1
Draft Development Plan Report	: Twenty (20) copies at the end of Phase 1 ETTA/UNTAET shall submit written comments on the Draft Development Plan Report to JICA within one (1) month after the receipt of the report.
Development Plan Report	: Thirty (30) copies in one (1) month after the receipt of comments on the Draft Development Plan Report from ETTA/UNTAET.
Field Report(s)	: Twenty (20) copies in accordance with the pilot study (studies) in Phase 2
Completion Report	: Thirty (30) copies at the end of the Study

VII. UNDERTAKING OF THE ETTA/UNTAET

1. To facilitate the smooth conduct of the Study, ETTA/UNTAET will take the following necessary measures;

- (1) to secure the safety of the Japanese Study team (hereinafter referred to as "the Team") .
- (2) to permit the members of the Team to enter, leave and sojourn in East Timor for the duration of their assignment therein, and exempt them from foreign registration requirements and consular fees.
- (3) to exempt the members of the Team from taxes, duties, fees and any other charges on equipment, vehicles, machinery and other materials brought into and out of East Timor for the conduct of the Study.
- (4) to exempt the members of the Team from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with any emoluments or allowances paid to the members of the Team for their services in connection with the implementation of the Study.
- (5) to provide necessary facilities to the Team for the remittances as well as the utilization of the funds introduced into East Timor from Japan in connection with the implementation of the Study.
- (6) to secure permission for the Team to enter into private properties or restricted areas for the implementation of the Study.
- (7) to secure permission for the Team to take all data and documents including photographs and maps related to the Study out of East Timor to Japan.
- (8) to provide medical services as needed. Its expenses shall be chargeable to the members of the Team.

2. ETTA/UNTAET shall bear claims, if any arises, against the members of the Team resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with, the discharge of their duties in the implementation of the Study, except when such claims arise from gross negligence or willful misconduct on the part of the member of the Team.

3. ETTA/UNTAET shall act as a counterpart agency to the Japanese Study Team and also as a coordinating body in relation with other governmental and non-governmental organizations concerned for the smooth implementation of the Study. The Division of Agricultural Affairs (DAA) of ETTA/UNTAET will establish a Steering Committee.

4. ETTA/UNTAET shall, at its own expense, provide the Team with the following, in cooperation with other organizations concerned:

- (1) Available data and information related to the Study,
- (2) Counterpart personnel
- (3) Credentials or identification cards to the member of the Team.

VIII. UNDERTAKING OF JICA

For the implementation of the Study, JICA shall take the following measures:

1. to dispatch, at its own expense, the Team to East Timor,
2. to pursue technology transfer to counterparts personnel in the course of the Study.

IX. CONSULTATION

JICA and ETTA/UNTAET will consult with each other in respect of any matter that may arise from or in connection with the Study.

TENTATIVE WORK SCHEDULE

MONTH	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
Work in East Timor	▬				▬					▬				▬					▬					▬	
Work in Japan	▬			▬					▬		▬													▬	
Stages	← Phase-1 →									← Phase-2 →															
Reports	△ Ic/R			△ P/R(1)	△ It/R				△ P/R(2)	△ DD/R	◎	△ D/R	△ F/R(1)				△ F/R(2)						△ F/R(3)	△ C/R	

- Remarks:
- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|
| Ic/R : Inception Report | P/R(1) : Progress Report (1) |
| It/R : Interim Report | P/R(2) : Progress Report (2) |
| DD/R : Draft Development Plan Report | D/R : Development Plan Report |
| ◎ : Comments on D/R by ETTA/UNTAET | |
| F/R(1) : Field Report (1) | F/R(2) : Field Report (2) |
| F/R(3) : Field Report (3) | C/R : Completion Report |

**Minutes of Meeting
of
The Study on Integrated Agricultural Development of East Timor
agreed upon between
East Timor Transitional Administration/
United Nations Transitional Administration in East Timor
and
Japan International Cooperation Agency**

Dili, November 28, 2000

Yukihiko Ejiri
Resident Representative
Japan International Cooperation Agency
(JICA)
East Timor Office

Serge Verniau
Director
Division of Agricultural Affairs (DAA)
East Timor Transitional Administration
(ETTA)/ The United Nations Transitional
Administration in East Timor (UNTAET)

The Preparatory Study Team organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") headed by Mr. R. NISHIMAKI visited East Timor from September 11 to 15, 2000 and held a series of discussions and exchanged views on the Study on Integrated Agricultural Development of East Timor (hereinafter referred to as "the Study") with officials of the East Timor Transitional Administration (hereinafter referred to as "ETTA")/ the United Nations Transitional Administration in East Timor (herein after referred to as "UNTAET"), and others concerned. After the Preparatory Study Team, both sides continued the discussion and eventually agreed on the Scope of Works of the Study.

As a result of the discussions, ETTA/UNTAET and JICA had common understandings, which mean that both sides understand the importance of the integrated agricultural development because now East Timor is changing to development stage from emergency stage, on the further cooperation between ETTA/UNTAET and JICA. Both sides also agreed on the importance of capacity building for the future development of East Timor.

The list of participants in the series of discussions is attached as Annex 1.

The followings are the important issues discussed and agreed.

- (1) Establishment of the Steering Committee to allow the Division of Agricultural Affairs, Department for Economic Affairs of ETTA/UNTAET (hereinafter referred to as "DAA") to share responsibility for the Study with JICA. The steering committee will be chaired by the Director of DAA and comprise the Section Heads of the DAA, the Team Leader and senior personnel of the Study Team, the JICA Resident Representative (or their nominee). Other organizations or individuals could be called to participate on an ad hoc basis by decision of the steering committee. The steering committee will meet at least once a month during the field work periods.
- (2) Formulation of the Integrated Agricultural Development Plan (hereinafter referred to as "Development Plan") will be carried out in coordination with the Joint Donor Mission scheduled for the end of March 2001.
- (3) The target year (time frame period) for the Development Plan will be set at 2007; however, the Development Plan will include the recommendation for the future Integrated Agricultural Development Strategy.
- (4) "Inventory Survey" will cover all the sub-sectors in agriculture, forestry and fisheries. It will be one of the major works carried out by the Study and be conducted in close coordination with the DAA, particularly with central and district agricultural officers and staff. Procedures of the inventory survey including collection of data in the field, compilation, data management and capacity building will be well discussed, determined and implemented with the DAA and also other relevant units of ETTA/UNTAET so that the data management be sustainable. Details of a questionnaire will be determined with the Study Team at the initial stage of Phase-1.
- (5) Both sides agreed that the focal points of each sub-sector will be as follows;
 - Fisheries
 - Soil analysis and classification
 - Commercial forestry potential identification
 - Non-timber forest product and agro-forestry
 - Assessment of current livestock and animal resources
 - Agricultural/horticultural quarantine service and early warning system against

- prevalence of diseases
- Organic agricultural products
 - Efficient water management in irrigated agricultural systems
 - Watershed management
 - Rice production with a focus on increased production techniques and overall reduced cost of production and potential diversification of lowland crop species
 - The market system and facilities for agricultural products

The Study Team will assist in the formulation of the Master Plan on agriculture, forestry and fisheries sectors paying due consideration on the above.

- (6) Data management/GIS development, if any, will be coordinated with an overall Data Management/GIS programme of the DAA and related departments/sections/units of ETТА/UNTAET. The Study Team will explain the scope of the JICA contribution in this area within one month of the commencement of the Study.
- (7) All primary information and data shall at all times remain the property of DAA. The copyright of the reports including processed data shall be in the joint possession of JICA and DAA; provided, however, neither party shall release the reports above thereof to any third party without the prior consultation of the other.
- (8) ETТА/UNTAET promised to do its best to provide to the Japanese study team a suitable office space which ETТА/UNTAET work in, during the study period.
- (9) ETТА/UNTAET requested that the Japanese side should prepare the necessary number of vehicles with drivers, fuel, etc. JICA East Timor Office promised to convey the request to the JICA Headquarters.

THE LIST OF PARTICIPANTS

EAST TIMORESE SIDE:

1. ETTA/UNTAET

Mari Alkatiri	Cabinet Officer for Economic Affairs
Serge VERNIAU	Director of Division of Agriculture Affairs
Zhijun CHEN	Head, Irrigation and Water Unit
Peter NUTTALL	Head, Forestry Unit
Genavo San VALENTIN	Agricultural Affairs Officer
Tom MARKUSHEWSKI	Office of Legal Affairs

2. CNRT

Jose ABEL	General Coordinator
Helder NEVES	National Project Coordinator

JAPANESE SIDE:

1. The Preparatory Study Team

Ryuzo NISHIMAKI	Leader
Noriaki NIWA	Aid planning
Yasuhiro MATSUMOTO	Cooperation policy
Takuo SUKIGARA	Agricultural policy
Hideo OSAWA	Coordinator
Nobuo SAMBE	Agricultural Sector Development
Hiroei ISHIHARA	Rural Development

2. JICA East Timor Office

Yukihiko EJIRI	Resident Representative
Takashi SUZUKI	Assistant Resident Representative

24. 物価調査結果

東チモール物価調査

費 目	単 価	通貨単位	備 考
人件費	測量等の現地技術者はほとんどいない。「気の利いた」人材はおしなべて UNTAET 等に確保されている。スペシャリストは基本的に調査団直営（日本人）か・・・。重機オペレータは優劣あるも available。		
Unskilled labor (Dili)	36,000	Rp./day	単純作業
Unskilled labor (rural)	24,000	Rp./day	単純作業（最低労賃）
Skilled labor (Dili)	60,000	Rp./day	電気工、機械工
Field manager/Supervisor	18.0	US\$/day	
Technical assistant	10.0	US\$/day	UNTAET 公定レート
Technician	4.5	US\$/day	UNTAET 公定レート
labor	3.0	US\$/day	UNTAET 公定レート
Unskilled NGO	480,000~600,000	Rp/月	NGO Forum 公定レート（月 22 日）
Semi-skilled NGO	600,000~912,000	Rp/月	同上（調査員の可能性あり）
Skilled I NGO	840,000~1,320,000	Rp/月	同上（調査員）
Skilled II NGO	1,200,000~1,680,000	Rp/月	同上
Manager NGO	1,200,000~1,680,000	Rp/月	同上（調査コーディネーター）
Senior Manager NGO	1,680,000+	Rp/月	同上
運輸通信費			
航空運賃（DPS~Dili）	370	US\$	ムルパティ航空。往復運賃
エクス（DPS~Dili）	2.1	US\$/kg	ムルパティ航空
ヘリコプター	1,000	US\$/時	6人乗り。HeviLiftEastTimor 社
4WD（車両のみ）	175	AS\$/day	ランクル、サファリ。長期 1 割引
保険	20	AS\$/day	
タクシー	20,000	Rp./時	市内。市内一乗り 5,000Rp.
運転手（給料）	152.0	US\$/月	週 5 日、9~5 時。
運転手（超勤）	0.9	US\$/時	
運転手（出張日当）	6.0	US\$/日	
運転手（宿泊）	12.0	US\$/泊	日当に加算
ガソリン	3,500	Rp./ℓ	地方では一部入手困難。タンク持参要。
軽油	3,500	Rp./ℓ	地方では一部入手困難。タンク持参要。
携帯電話（Nokia）	183	US\$/台	インターネット接続ケーブル別売。エリクソン社製はより安価だがインターネット接続不可。
プリペイドカード	10~100	A\$/枚	Telstra で購入可。携帯電話用。
電話（Telstra）	0.3	US\$/分	オーストラリアまでの料金。電話ブースからダイヤル経由（i-Pass）でインターネットアクセス（~14400bps）可。
国際電話（Telstra）	0.45	US\$/分	日本までの料金
インターネット接続（Telstra）	3.0	US\$/15分	備え付けのパソコン利用。日本語不可。1時間だと 9.0US\$。休日は混む。
ファックス（送信時）	1	US\$/枚	Central Maritime より日本まで
	3	US\$/枚	Dili2000 ホテルより日本まで
ファックス（受信時）	1	US\$/枚	Dili2000 ホテルで
宿泊施設	宿泊施設（商業宿）があるのは Dili、Baucau、Manatuto、Maubisse のみ。その他は PKF 敷地内でのテント生活か。寝袋、蚊帳、食料、水持参要。民家との契約も可？		
Dili2000（デラックス）	95	US\$/日	温水シャワー・TV 付朝食付。長期 75ドル。洗濯 1 袋 6ドル。2 袋 10ドル。VISA、Master
Dili2000（スタンダード）	75	US\$/日	バス別 TV 朝食付。長期 55ドル。洗濯 1 袋 6ドル。2 袋 10ドル。VISA、Master

費 目	単 価	通貨単位	備 考
Paximas Lodge (コテナ)	40	US\$/日	バスト別。3食付。洗濯機。VISA、Master
Olympia (船)	70-80	US\$/日	シャワー付。朝食込。部屋極めて狭い。
Central Maritime (船)	80	US\$/日	シャワー付。朝食込。冷蔵庫。施設完備。長期滞在。カード可
Pousada de Ensul (Maubisse)	40	US\$/日	シャワー付。全6部屋。
Pousada de Ensul (Maubisse)	50 70 (週末)	US\$/日	シャワー付。全2部屋。
名は不明 (Baucau)	50,000	Rp./日	4ベットの大部屋。シャワー共同。
食品、食事	地方の中心の村でもレストランが存在する。10月末現在での確認町/村。Dili、Baucau、Manatuto、Maubisse、Same、Viqueque (聞き取り)		
食事一皿平均	7-15	A\$	ディリでは、数多くのレストランが見られる。多くのレストランでの支払いはA\$が使用されている (US\$も使用可)
缶ビール	3	A\$	レストランで
米	3000	Rp./kg	ディリの中央市場にて。
焼き鳥 (串焼き)	1000	Rp./本	ディリ市街の露店にて。
ミネラルウォーター	5000	Rp./本	ディリ市街の小売店にて。
その他			
燃料用マキ	1000	Rp./束	一束;約長さ40cm、幅7cm、厚さ2,3cm。ディリの市街で。
新聞 (週間紙)	3,500	Rp	英語、テトゥン語、ポルトガル語併記。路上販売。多くは子供が販売している。

SUMMARY

Background of the Study

1. Per capita GDP of East Timor in 1998 was at the lowest level of US\$ 424 among the provinces of Indonesia. The Indonesian government had continued development of East Timor from view points of poverty alleviation and or security.
2. The referendum of August 1999, whose main theme was if the people of East Timor would accept the broader autonomy proposed by the Indonesian government, decided to reject the proposal with an overwhelming majority, and ensured the independence of East Timor from Indonesia.
3. After the disturbance in September 1999, peace and order in East Timor were recovered by the peace keeping force (PKF) of the United Nations, then assistance for urgent rehabilitation and or food support were conducted in various forms and programmes by the World Bank, JICA and other donor agencies under administration of UNTAET.
4. Spending one year after the disturbance, East Timor is now shifting from urgent rehabilitation stage to development stage. In agricultural sector, it has been pointed out that a medium to long term agricultural development plan is required for further development. UNTAET requested to the government of Japan to implement a development study on the agricultural sector, then responding to the request, JICA started a study titled "Preparatory Study on Integrated Agricultural Development of East Timor" in September 2000.

Purpose of the Study Team

5. The preparatory study team was dispatched for realizing smooth implementation of "The Study on Integrated Agricultural Development of East Timor" (hereinafter referred to as "the Study"), which aims at assisting of formulation of the Agricultural Master Plan of East Timor, and human resources development. The works conducted by the preparatory study team are; i) fact finding and analysis of present conditions of agriculture, forestry, fisheries sectors and communities, ii) to assist in concluding of the Scope of Works through discussions with related sections of ETTA/UNTAET, and iii) to examine details of the works conducted in the course of the Study by getting information on activities of other donors and or NGOs.

Work Done

6. In September, five team members consisting of the government officials of Japan visited East Timor and discussed on the Scope of Works, then proceeded to Indonesia and Thailand to collect related information on the Study.
7. In October, two consultant members started their works in East Timor. They collected information on the activities of other donors, looked into the situation on rehabilitation of the agricultural sectors through discussion with district agricultural officers and assistants, and confirmed future development assistance programmes.

8. In November, intensive discussions were made on the Scope of Works and on the Minutes of Meetings, then the both sides finally agreed and signed on them on November 29. Data and information collection were also carried out in Indonesia and Thailand.
9. In December, supplemental collection of data and information was made, then current situation on agriculture, and needs and policy for agricultural development were analyzed and compiled in a draft study report.

Present Condition of Agriculture, Forestry and Fisheries of East Timor

10. Annual rainfall in East Timor ranges from 500 mm to 3,000 mm. It rains least in northern plain, while southern region receives comparatively much rainfall. Rainfall pattern in the northern part has one peak from December to February, while in the southern part, there exist two peaks from December to February and from May to June. Rivers have generally steep profiles and have low water retentiveness with dilapidated watersheds, which causes frequent floods and inundation.
11. Economy of East Timor largely depends on agriculture and its major exportable commodity is coffee. Farmers and fishermen are mostly poor, and it is reported that about 30 % of the people make living under poverty line and such situation is getting worse.
12. Population of East Timor at present is reported to be 750,000 to 800,000 having 100,000 to 120,000 refugees who still remain in West Timor. The population before the disturbance was about 884,000.
13. As for infrastructures, a number of houses were destroyed or burnt during the disturbance of September 1999, and most of roads, water supply facilities, power supply facilities and irrigation facilities have deteriorated due to the destruction and poor maintenance.
14. In rural areas, shortage of foods occurred, and also, insufficient agricultural inputs such as seeds forced the farmers to abandon wet season cropping of 1999. Lots of livestock which were one of main sources of cash income for the farmers were lost and they fell into great financial difficulties until the emergency assistance by the donors had effect.
15. East Timor has no end in disputes on land ownership. Owners (or users) of a piece of land during Portuguese, Indonesian administration and at present often insist their ownership for the land. Disputes on the land ownership itself amounts to 500 cases or more at present.
16. In farmers' and or fishermen's communities, each family member plays certain roles in their living. Heavy works such as construction, threshing and fishing are for male, while light works such as harvesting are for female. Buffaloes are valued livestock which are used not only for farming practices but also for fete and or substitutes for cash.

17. Planted area, production, and yield of major crops in East Timor as of 1997 are shown in the following table.

Crops	Planted area (ha)	Production (ton)	Yield (ton/ha)
rice	20,000	52,000	2.7
maize	60,000	106,000	1.8
groundnut	3,200	3,200	1.0
soybean	1,500	1,200	0.8
cassava	16,600	66,500	4.0
Sweet potato	4,200	16,200	3.9

Source : STRATEGIE FOR IRRIGATION AND WATER MANAGEMENT IN EAST TIMOR, AGRICULTURE DEVELOPMENT UNTAET

- Agricultural products are handled by middle men who bring the products to markets every day. Plenty of vegetables and rice (mostly imported rice) are sold at the markets in major cities.
18. Timorese coffee, which is crossbred kind between Arabica and Robusta, plays a great role in acquisition of foreign currency, is cultivated in low productivity due to poor crop management and quality control. Coffee cultivation is being regulated to apply organic farming for improving added-value. Related regulation is being prepared by the government.
19. Rehabilitation and improvement of some irrigation facilities are being implemented by ARP of TFET, emergency grant-aid projects by JICA, etc. Farming tools have been distributed by ARP and other NGO's programmes, while about 430 tractors or tillers were provided by Japan, Norway, Macao, which are handled and operated by "mobile brigade".
20. As for livestock sector, buffaloes, Bali cattle and chickens are to be distributed by ARP, but the planned numbers for distribution are reported not sufficient for making up for the shortage at present.
21. As for forestry and timber production, some qualified sandalwood trees and teak trees are seen in the southern region, but forestry itself is extremely scarce in the territory. It is reported that there exists little primary forest in the territory. Traditional slash-and-burn cultivation system is practiced extensively at steep slopes. It is recommended that extensive afforestation should be a long-term subject in this sector from a viewpoint of watershed management.
22. Offshore and coastal fisheries are major fishing activities in East Timor. Shortage of fishing tools such as net, engine and fishing boats or shipping boats hampers and limits fishing activities. Major fishing grounds are around Dili and Com in Lautem District. Catch of fish at Dili is reported about 450 kg per day. Regulation and supporting system for the fisheries sector have not been established. Some fishermen's groups have been organized as responding organization for receiving the assistance or aid, but they have not been active. Processing, storage and marketing system of fisheries products have not been facilitated
23. As for inland fisheries, hatcheries operated during Indonesian times (located in Same, Ermera, Bobonaro, Viqueque) have deteriorated, and the production itself has greatly fallen.
24. East Timor Transitional Administration (ETTA) consists of eight departments, namely, Police and Emergency Services, Justice, Political, Constitutional and Electoral Affairs,

Finance, Internal Administration, Infrastructure, Economic Affairs, and Social Affairs. Division of Agricultural Affairs (DAA) belongs to the Department of Economic Affairs. Mr. Serge Verniau plays a role of the Director of DAA, in which "Timorization of staff" is being proceeded. The staffs of DAA are being recruited, and 126 staffs will be arranged (35 staffs in the headquarters, 91 staffs in the districts). Five sections, i.e., crop production, irrigation, livestock, fisheries and marine environment, forestry, are established in the headquarters.

25. Major agriculture-related organizations beside DAA are agricultural division of CNRT, which is institutionally situated under DAA but acts independently from it, and East Timor Agriculture, Veterinary, Fisheries and Forestry Association (ETAVFFA) which is an association of agriculture-related engineers, university staffs and specialists.

26. Projects being handled by the crop production service are as follows:

Project Title	Period	Donor
Emergency Response for Rat Control	November 2000	AusAID
Selection and Production of Suitable Seeds (TOR has not been signed)	6 months from December 2000 (Phase-1)	ACIAR
Distribution of fertilizer	March 2000 -	Norway
Production and Distribution of Seeds	June 2000 -	FAO
Monitoring of Mobile Brigade		JICA, Norway, Macao
EM Project		Thailand

27. Irrigation service of DAA has implemented rehabilitation of irrigation facilities for 4,500 ha and farm roads of 50 km under ARP, and rehabilitation of Laclo irrigation system with JICA's emergency grant-aid.

28. Projects being implemented by the livestock section of DAA are all funded by ARP as follows:

Project Title	Period	Donor
Vaccination campaign	November 2000 to October 2001	TFET
Distribution of Bali cattle and buffaloes	Procurement will be started in January 2001 in Indonesia and will start distribution from March 2001.	TFET
Distribution of chickens	From January 2001	TFET

29. Projects being implemented by the fisheries and marine environment service of DAA (funded by AusAID) are as follows.

Project Title	Period	Location
Demonstration and training on new fishing tools for fishermen	4 months from September 2000	①Dili
Training on maintenance of engines for fishermen	4 months from September 2000	①Dili
Fishing facilities (eight container)	7 months from October 2000	③Darwin, Dili
Second handed fishing tools	5 months from October 2000	④Oecussi, Dili, Same, Viqueque
Salted fish production (procurement of equipment)	3 months from October 2000	⑤Ambeno

Project Title	Period	Location
of equipment)		
Salted fish production	4 months from September 2000	⑥Ambeno
Trial building of proper engine-driven boat and canoe	July 2000 to March 2001	⑦Hera, Dili
Business-oriented training for local mechanics at Hera fishing port	July 2000 to March 2001	⑧Hera, Dili

30. On-going and planned programmes on agriculture by donors and international NGOs are summarized in Table-S1 and S2 attached to this summary.

Needs of Economic and Technical Cooperation and Possible Assistance by Japan

31. Basic development strategy of agricultural sector of East Timor, which largely depends on agriculture but has few products for export except coffee, should be self-supportive food security by increasing of agricultural production. For this, the following three items are to be the needs for economic and technical cooperation to East Timor:

- Realization of stable production of food crops attained by marketing system improvement and supported by rural development
- Securing of self-supporting funds for sustainable development (development of cash crops and value-added agricultural products)
- Human resources development

32. As for “Realization of stable production of food crops attained by marketing system improvement and supported by rural development”, needs for the following technical fields are identified:

- Improvement of infrastructures for production
- Improvement of supporting services for production
- Extension of production technique
- Improvement of marketing system
- Watershed conservation
- Support for the weak
- Improvement or establishment of statistical information system

33. As for “Securing of self-supporting funds for sustainable development (development of cash crops and value-added agricultural products)”, needs for the following technical fields are identified:

- Improvement of productivity of coffee
- Afforestation with teak trees and sandalwood trees
- Improvement of added value by processing, quality control and stable supply of the products.

34. As for “human resources development”, i) capacity building of the government officials, ii) capacity building of NGOs which should play a role of “bridges” between communities or people and the “compact government”, and iii) capacity building of farmers/fishermen, which would be started by demonstration or enlightenment on new production techniques

for them.

35. Assistance to East Timor is supposed to be covered by “grant-aid”. Paying due attention to the contents of aid programmes by other donors and their scale, implementation period and technical level required, various resources and tools of Japan’s aid programmes; such as grant aid project, development partner project, grass-root grant aid project, development study, dispatch of experts, project type technical cooperation, overseas volunteer, etc., should be considered in the planning stage, for realization of effective and efficient assistance.
36. Taking intention of East Timorese side into consideration, expected sectors for assistance by Japan are as follows:
- Increase of production of food crops (mainly rice) through improvement of productivity by seed improvement, irrigation facilities improvement, reduction of production cost by introducing of agricultural machinery, improvement of disease and pest control, fertilizer and agro-chemical management along with organic farming, post harvest processing, marketing system and facilities.
 - Watershed management plan by basin, and implementation of short-term and or medium-to-long-term projects
 - Organizing and strengthening of fishermen’s cooperative, and training on fishing techniques and maintenance of fishing tools.
 - Analysis of supply and demand balance and planning of animal resources, establishment of sustainable development system of livestock production, and training of veterinaries.

Development Approach of Agricultural Sector

37. Primary objective of the agricultural development at national level is considered to attain food security by realizing stable and sufficient production and to achieve economic development through acquisition of foreign currency, while at community or the people’s level, to improve income level and living standard. For these, a step-wise development approach should be taken as follows:
- (1) First Stage: Development of Basic Human Needs
In rural areas of East Timor, many of households remain under poverty line and suffer from poor and insufficient social infrastructures which should support activities on agricultural production
 - (2) Second Stage: Increase of Production
Production will be enhanced by improvement of productivity, increase of planted area and yields through improvement or development of farm fields, irrigation facilities, supply of agricultural inputs, training and extension of production techniques.

- (3) Third Stage: Improvement of Productivity
Increase of profit by reduction of production cost through joint operation, mechanization, reduction of post-harvest losses, etc.
- (4) Fourth Stage: Development of Added Value
Quality improvement, stable supply, post harvest treatment and processing, and selection of crops taking market and demand into account.
38. It is important to clarify the potential of agriculture, forestry and fisheries production, and set certain targets and benchmarks for each development plan so that efficient development be realized.
39. Prioritized sectors of agricultural development in East Timor are considered to be community development, sustainable development of food crops production, environment-oriented agriculture, and capacity building.
40. Candidates of pilot projects which are to be implemented in the course of the Study are as follows:
- Seed multiplication center project
 - Mechanized agriculture project
 - Empowerment of water users' association
 - Disease control and fertilizer management project
 - Watershed conservation project
 - Small scale fisheries supporting project
 - Inland fisheries supporting project
 - Agricultural statistics system development project
 - Marketing system and facilities improvement project
 - Post harvest treatment and processing improvement project

Special Attention on the Implementation of the Study

41. Addition and modification from the original S/W by the Japanese side to the final S/W agreed in November 2000 are as follows:
- Official position of Mr. Cady for ETTA was changed to "Acting Transitional Administrator". (Signer of the Japanese side was Mr. Ejiri, resident representative of JICA East Timor Office)
 - The first objective of the Study was changed from "to formulate Master Plan" to "to assist in the formulation of a Master Plan...".
 - A phrase of "as may be agreed between DAA and JICA" was attached at 1.1 (4), "Data collection and analysis"
 - The Study team will formulate "Integrated Agricultural Development Plan" but not a Master Plan.
42. Addition and modification from the original M/M by the Japanese side to the final M/M agreed in November 2000 are as follows:

- Signer for the East Timor side was Mr. Serge Verniau, the director of DAA (Signer of the Japanese side was Mr. Ejiri, resident representative of JICA East Timor Office).
 - A steering committee will be established for the Study. The committee will be chaired by the director of DAA.
 - Results of the donor coordination meeting (workshop), which will be held in March 2001 jointly sponsored by the World Bank and other donors, will be duly referred in formulating of the Integrated Agricultural Development Plan.
 - The Inventory Survey is one of the major works of the Study. The survey should be conducted keeping close coordination with not only DAA but also with other related sections of ETTA/UNTAET.
 - Eleven items of “focal points of the Study” should be considered in the Study. (See No.45)
 - Work details of GIS (procedure, equipment, etc.) will be identified within one month after commencement of the Study and be informed to DAA.
 - All primary information and data shall at all times remain the property of DAA. The copyright of the reports including processed data shall be in the joint possession of JICA and DAA; provided, however, neither party shall release the reports above thereof to any third party without the prior consultation of the other.
 - ETTA/UNTAET promised to do its best to provide to the Japanese study team a suitable office space which ETTA/UNTAET work in, during the study period.
43. DAA is a “compact organization” consisting of 126 Timorese staffs. They are handling a number of projects, and the Study should be conducted paying due attention not to overload the counterpart.
44. It is necessary to enhance efficiency of the Study itself through close coordination with other donors.
45. The focal points agreed in the S/W are as follows:
- Fisheries (marine fisheries are given priority to inland fisheries. Small scale fisheries are given priority to large scale fisheries)
 - Soil analysis and classification
 - Commercial forestry potential identification
 - Non-timber forest product and agro-forestry
 - Assessment of current livestock and animal resources
 - Agricultural/horticultural quarantine service and early warning system against prevalence of diseases
 - Organic agricultural products
 - Efficient water management in irrigated agricultural systems
 - Watershed management
 - Rice production with a focus on increased production techniques and overall reduced

- cost of production and potential diversification of lowland crop species
- The market system and facilities for agricultural products
46. The objectives of the Inventory Survey are as follows:
- To obtain and set indices for formulation of the Integrated Agricultural Development Plan,
 - Re-construction of collection, processing and compilation system of agricultural statistics, and
 - Technical transfer through the above.
47. The Inventory Survey will possibly utilize ex-extensionist of Indonesian times and or local NGOs. An idea for implementing the survey is; an enumerator will be assigned for each sub-district (64 sub-districts in total), and a coordinator will be assigned for each district (13 coordinators), and a few supervisors will be assigned under the Study team by region.
48. The preparatory study team requested for preparation of a list of candidates of the enumerators, coordinators and supervisors for the Inventory Survey for smooth recruitment at the initial stage of the Study. A meeting with local NGOs was organized in the course of the preparatory study in October 2000, and 13 NGO groups expressed interest in getting involved in the Inventory Survey.
49. According to the Environmental Management Unit of ETTA, environmental impact assessment and other environmental impact study are to be done conformed to Indonesian AMDAL Procedure.
50. Study by using of GIS was requested by DAA. Details on the procedures will be discussed and determined in the course of the first field work period of the Study. DAA has an intention to let the data input works done in East Timor for technical transfer to Timorese staffs. For this, at least, a personal computer, a digitizer, a scanner, a plotter, and software (Arcview 3.1 or 3.2) are considered necessary. Basic materials for cartography, such as topographic maps (1 in 50,000, 1 in 25,000), soil map (1 in 100,000 of 1970s), land suitability maps (1 in 250,000 of 1980s) were collected by the preparatory study team. Data from Landsat V are available (necessary to purchase) in LAPAN of Indonesia (Jakarta).
51. Census and Statistical Unit of ETTA should also be involve in preparation of a database which will be organized using the results of the Inventory Survey of the Study, in order to assure sustainable management of the data/information management system. Necessary equipment should also be allocated.
52. According to PKF announcement, six districts, namely Bobonaro, Ermera, Suai, Manufahi, Ambeno, and Ainaro, are now categorized as “Medium, Phase-1” in their security levels. In advance of the Study, procedures of the works in these districts should be considered well according to the actual security condition, and instructed to the Study team.
53. Accommodation facilities in the district level are not available except a few districts. It is necessary to prepare mosquito nets and sleeping bags for the field work.

54. Working space in DAA is very limited. It seems difficult to get an enough space for the whole study team within DAA. Another office space should be prepared in need.
55. Power supply condition in Dili is getting worse and procurement of a power generator is necessary. Power back-up, namely UPS for Australian voltage (220 V) can not be properly charged because of low voltage (170 V) in Dili. Daily necessities can be procured in Dili. Expendable supplies and equipment for the Study or survey should be brought from Japan.
56. It is important in making a schedule or plan of survey to allocate enough time so that the purposes or procedures of the works be explained well and be understood by the East Timorese stakeholders.

Table-S1 Current and Planned Programmes by Other Donors (1/3)

Donor / Programme Title	Period	Contents
World Bank (TFET)		
Agriculture Rehabilitation Project (ARP)	2000.8~2001.12	Livestock vaccination / 100,000 chicken to poor farmers / 2,000 head of buffalo and Bali cattle / Agricultural hand tools to 4,000 families / Farmer information campaigns / Community rehabilitation of 7,000 ha of irrigation schemes, and 100 km of agricultural roads / Feasibility study for large irrigation schemes, and 100 km of agricultural roads / 8 Pilot Agricultural Service Centers / Community radio stations / Support to Faculty of Agricultural Research / Agriculture training / Technical assistance and equipment
FAO		
Urgent rice and maize seed multiplication	2000.4~2001.2	Extension on seed improvement and seed multiplication at farmer's level / On-the-job training for national agronomist / Training of farmers and rural leaders / Evaluation of emergency needs and distribution
Co-ordination of Emergency Agriculture Interventions	2000.1~2000.12	Co-ordination / Crop Assessment / Collection of data and information / Evaluation of relief needs / Kick start operations
Formulation of Agriculture Sub-Sector Strategy and Action Plans	Through UNDP	Assist ETTA in the preparation of short and medium term agriculture sub-sectors development strategies and action plans for: <ul style="list-style-type: none"> • Cash crops / Food crops / Livestock / Irrigation and water management / Fisheries / Forestry
Emergency assistance for the reduction of post-harvest losses	Under preparation at FAO HQ	Details are not available (FAO HQ)
Technical Capacity Building and Training Services for the Development of the Agriculture Sector in East Timor	Under preparation	Institutional strengthening of Agriculture Division of ETTA / Establishment of a resource and information center / Technical training for human resource development in various agricultural sectors for Timorese counterparts etc. / Pilot demonstration in selected locations
UNDP		
Ainaro – Manatuto Community Activities Project	2001.3~5 years	Participatory development through PRA Method. Seed development / Extension of farming technology / rehabilitation of irrigation facilities / community development / agro-forestry / health care / education / WID
Formulation of Agriculture Sub-Sector Strategy and Action Plans	See FAO above	See FAO above
AusAID		
Emergency Response for Rat Control	2000.11~2001.1	Implement a strategy for immediate rat control in Natarbora / Survey rice growing areas of ET to assess extent and severity of rat infestations / Develop a long-term strategy for environmentally-responsible rodent management

Table-S1 Current and Planned Programmes by Other Donors (2/3)

Donor / Programme Title	Period	Contents
Small scale Fisheries Activities	2000.6~2000.11	Rehabilitation of Bidau Santana Fish Market / Oeccusi Salt Production / Atauro Island Integrated Village Development / Fisher boat engine survey and repair / Supply of Fishing Equipment / Engine Maintenance Training / Training and demonstration of new equipment / Experimental boat building project / Re-establishment of Hera Mechanics Workshop
Community Based Watershed Management	2000.12~2002.12	<u>Phase I</u> <ul style="list-style-type: none"> • Training to national Forestry Unit staff • Support to community based watershed management in five watersheds (Los Palos, Aileu, Ermera, Liquica, and Dili)
East Timor Rural Development Program	2001.4 ~ 2002.3 (Phase I) 2002.4 ~ 2005.3 (Phase II)	<u>Phase I</u> <ul style="list-style-type: none"> • Project establishment • Rapid impact projects (RIP) in upland and lowland localities in first 12 months in Bobonaro and Viqueque. RIPs to be determined but could support: <ul style="list-style-type: none"> • Lowland rice production • Upland subsistence farming • Small livestock programs • Chicken vaccination • Support to coffee production • District Resource Technology Services (Bobonaro, Viqueque) • Detailed design of phase 2 <u>Phase II</u> <ul style="list-style-type: none"> • Support for identified rural development projects (to be determined)
Agriculture and Forestry Landuse Mapping and GIS Development Training	2000.12~2001.6	<ul style="list-style-type: none"> • Landuse Mapping and GIS information: <ul style="list-style-type: none"> • Soil resource/agro-ecological zones classification • Zonation for organic coffee • Identification for organic coffee • Identification of erosion risk areas • Layout of major irrigation and condition of acces roads • Landuse baseline Phase I (Data collection/retrieval) Phase II (Database development and training)
East Timor Forest Resource Inventory	2001.3~2001.9	<ul style="list-style-type: none"> • Inventory of forest resources • Soil chemistry analysis for Aileu • Forest resource maps • Options for future forest management • Identification of priority areas for commercial timber resources and reforestation • Capacity building

Table-S1 Current and Planned Programmes by Other Donors (3/3)

Donor / Programme Title	Period	Contents
ACIAR		
Study on Seed Assessment and Production	2000.12~	Assessment of introduction of adequate seeds of rice, cassava, maize, potatoes, sweet potatoes, groundnut / selective breeding and seed production / improvement of access to qualified seeds / collection of fundamental data on crop production / capacity building
USAID		
Timor Economic Rehabilitation Development Project (TERADP)	1994~2004	<ul style="list-style-type: none"> • Support and development of coffee cooperatives involves <ul style="list-style-type: none"> • Coordination of crop extension activities • Community welfare needs • Finance • Processing facilities • Seedling nursery • Demonstration plots • Vanilla seedling nursery • Community primary health care (4 centers established, 17 planned in total) • Cooperative and small enterprise training center • Consumer goods distribution through small enterprise village shops/kiosks
Portugal		
Coffee Technology Center (Ermera)	2000.10~2005.10	Coffee and forestry technology / Research / Provision of coffee inputs
Horticulture Technology Center (Aileu)	2000.10~2005.10	Fruit tree, vegetables and food crop technology / Research / Provision of inputs
GIS Mapping	2000.4~2002.3	Digital mapping for the whole territory / Sector-wise digital maps (landuse, infrastructure, schools, public facilities) / Regional maps

Table-S2 Activities of International NGOs (1/2)

NGO	Work Performed
Action Contre La Faim (ACF)	Coffee processing equipment in Ermera / distribution of vegetable seeds and farming tools in Ainaro, Manufahi, Baucau and Manatuto / Irrigation in Baucau and Manatuto
ADRAJapan	Market construction in Dili city (Comoro, Becora) / Study on marketing in East Timor / Demand and market analysis in five districts in/around Dili
CARE	Distribution of vegetable seeds in Lautem, Manatuto, Covalima and Dili (AusAID) / Distribution of rodenticide in Lautem and Manatuto and seed multiplication (Development Partner Programme of JICA) / Integrated Pesticide Management and Integrated Cropping Management in Lautem and Manatuto / Distribution of fertilizer in Lautem, Manatuto, Covalima and Dili / Six hand tractors in Lautem and Manatuto
CRS	<ul style="list-style-type: none"> • Distribution seeds and farming tools in Ainaro / capacity building of 15 local NGOs in Lautem, Baucau, Viqueque and Manatuto

Table-S2 Activities of International NGOs (2/2)

NGO	Work Performed
CESVI	Distribution of vegetable seeds and farming tools in Dili
OICOS	Distribution of vegetable seeds and farming tools in Dili, Aileu, Manufahi
Oxfam	Distribution of vegetable seeds in Dili
Peace Winds Japan	Coffee processing equipment and fishing tools in Liquica / engines and fishing tools for fishermen's group in Atauro Island (plan)
Save the Children Federation	Small fishing boat in Liquica
Timor Aid	Distribution of vegetable seeds and farming tools in Dili. Execution of small asset support project (AusAID)
World Vision	Distribution of vegetable seeds in Ermera and Aileu